

感動を生む。想いをつなぐ。
The Entertain**media** Company

J:COM

2011年12月期 第2四半期決算説明会

2011年7月26日

株式会社ジュピターテレコム

このプレゼンテーションに記載された当社の財務情報は、米国会計基準に基づき計算されたものであります。

このプレゼンテーションには、当社の計画と見通しを反映した将来予想に関する記述を含んでおります。かかる将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否等、不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績はこのプレゼンテーションに記載されている将来予想に関する記述とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

また当社は、このプレゼンテーション後において、かかる将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

1

第2四半期のまとめ

2

第2四半期業績の解説

3

第3四半期以降の重点施策

4

参考資料

1. 第2四半期のまとめ： 連結業績サマリー

おおむね計画通りの進捗

(単位：億円)

	2010年Q2	2011年Q2	増減率	通期予想	進捗率
営業収益	1,775 億円	1,840億円	3.6%	3,700億円	50%
営業利益	329 億円	400億円	21.4%	730億円	55%
税金等 控除前利益	312 億円	384億円	23.4%	695億円	55%
当社株主帰属 四半期純利益	202 億円	205億円	1.3%	375億円	55%
EBITDA*	756 億円	814億円	7.8%	+4~6%	

*EBITDA=(営業収益)-(番組・その他営業費用)-(販売費および一般管理費)

1-1. 主要オペレーション指標

My styleの寄与もあり、加入トレンドは増勢を維持

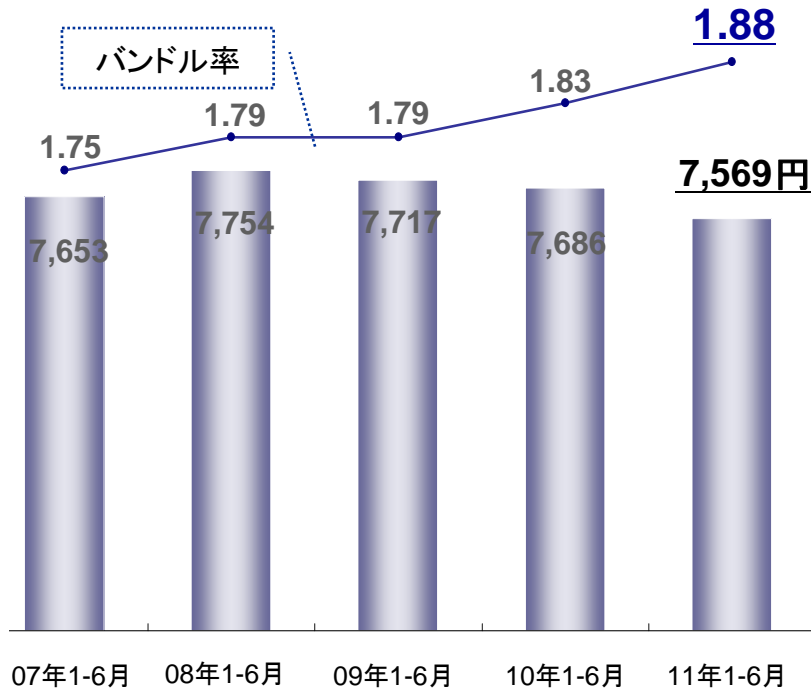
主要オペレーション指標	2010年6月末 (2010年1-6月平均)	2011年6月末 (2011年1-6月平均)	増減
ケーブルテレビ	261万	277万	+6.1%
高速インターネット接続	164万	176万	+7.0%
電話	186万	209万	+12.3%
RGU合計 *	611万	661万	+8.3%
総加入世帯数	334万	352万	+5.4%
平均月次解約率 (RGU当たり)	1.16%	1.03%	-0.13pts

*RGU (Revenue generating unit)合計 = 合計提供サービス数

1-1. 主要オペレーション指標

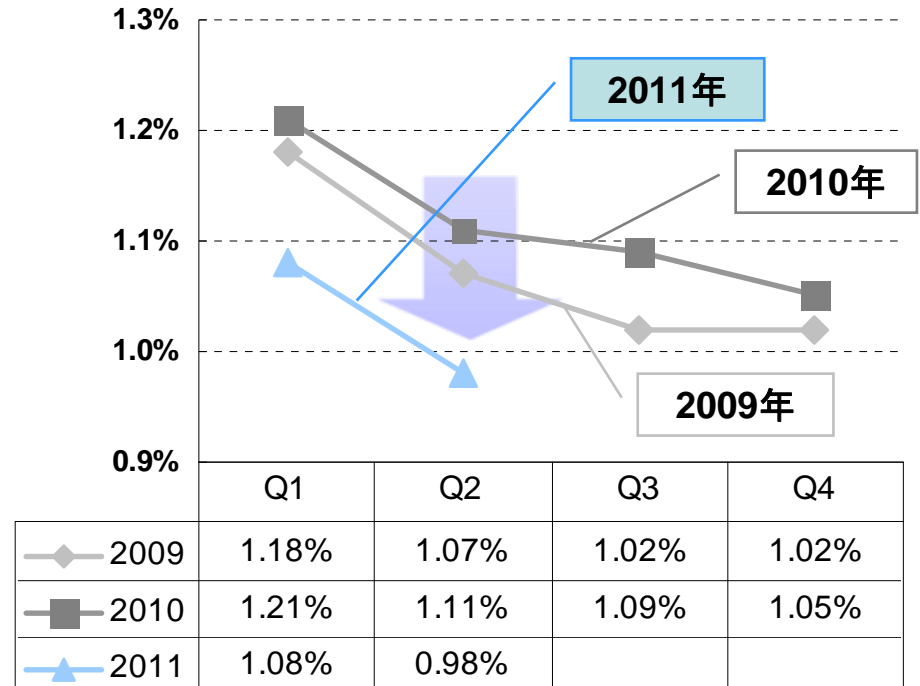
バンドル率は向上

ARPU*・バンドル率*



解約率は大幅に改善

平均月次解約率 (RGUあたり)*



* ARPU=加入世帯当たり月次収益
* バンドル率=加入世帯当たり提供サービス数

*平均月次解約率=(当該期間における解約サービス数合計)÷
(当該期間の加重平均RGU数)÷(当該月数)

1-2. 第2四半期の施策

「お客様基盤の拡大＋お客様との関係深化」を推進

お客様基盤の拡大

1. 総加入世帯の拡大

- 地デジ需要獲得の最終追い込み

2. KDDIアライアンス

- 諸施策を強化・拡大

3. 高付加価値サービスの
利用促進

- VODの拡充・ブルーレイHDRの拡販

4. 解約率の改善

- 長期加入の促進

5. お客様満足度・
企業認知度向上

- 各種イベントの推進

お客様との関係深化

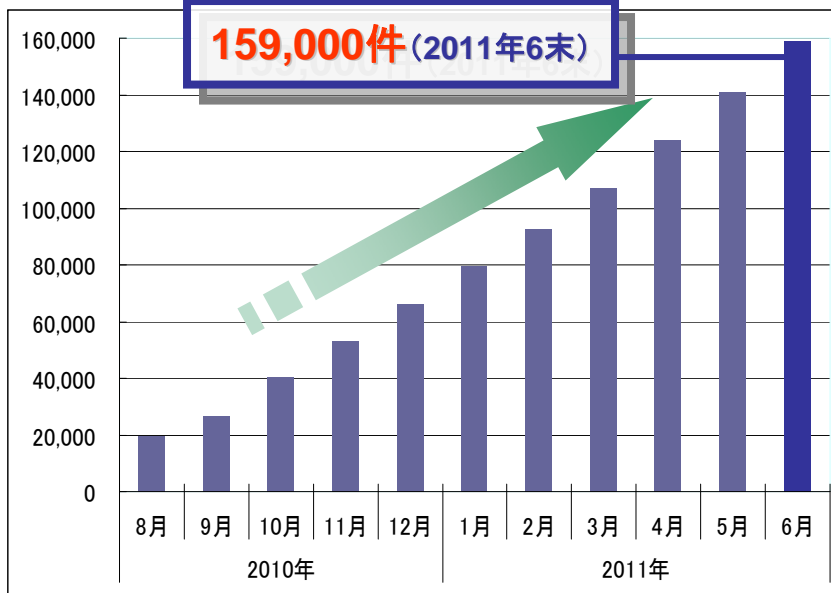
1-2-1. 総加入世帯の拡大

地デジ需要獲得の最終追い込み

- ・総加入世帯数 + **178,900** (前年同期末比)
- ・CATVサービス加入世帯数 + **159,300** (前年同期末比)

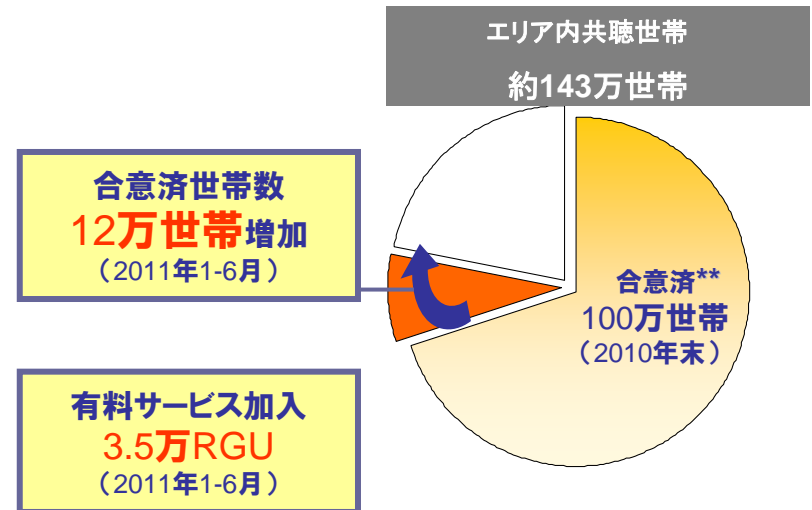
J:COM TV My style の積極活用

J:COM TV My style 加入世帯数(累計)



未接続難視聴共聴世帯*の取り込み

合意済世帯数** 約112万世帯(約8割)

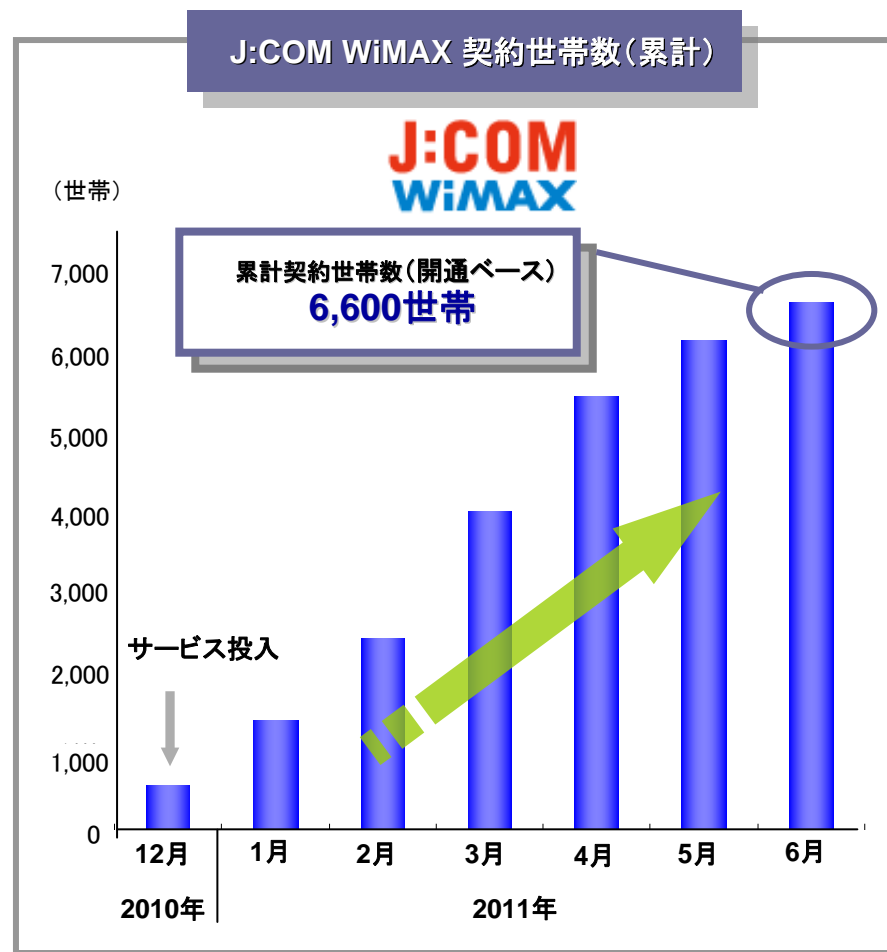
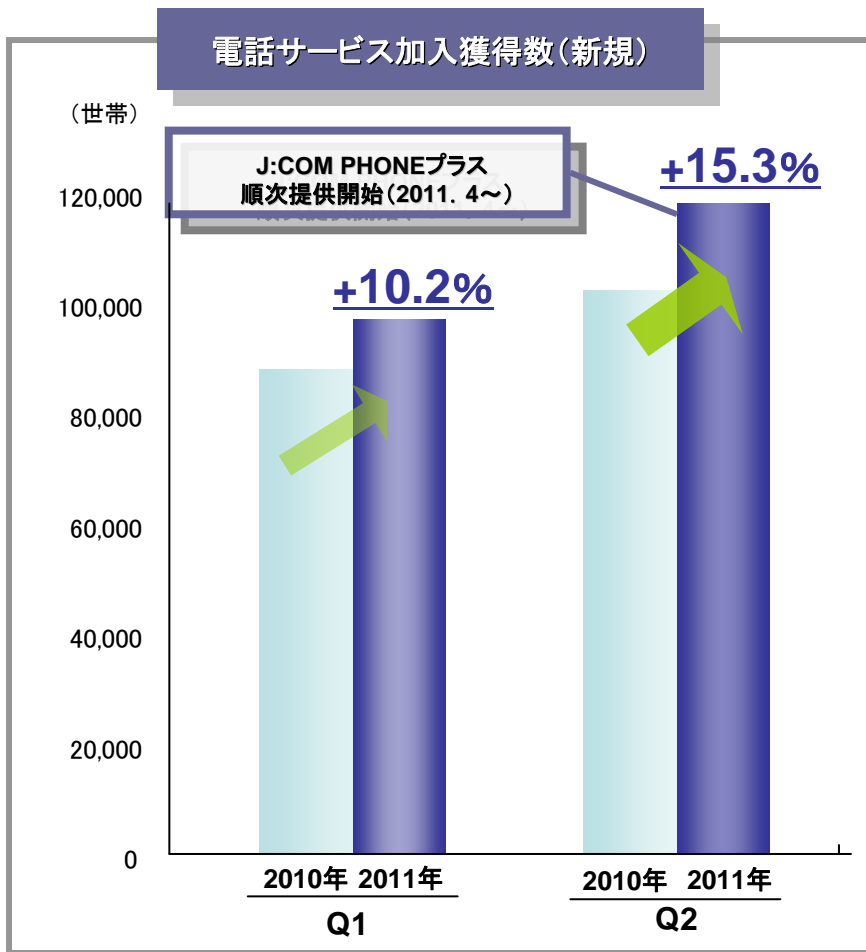


*難視聴共聴世帯:ビルや送電線などの陰になることで電波障害が生じ、テレビ放送を視聴するために地上波放送の電波を共同受信する施設(難視聴共聴施設)から電波を分配受信する必要がある世帯。 **施設管理者との間で当社グループが営業活動を行うことで合意できた世帯。

諸施策を強化、拡大

■ 「J:COM PHONE プラス」提供開始

■ 「J:COM WiMAX」提供開始



1-2-3. 高付加価値サービスの利用促進

VODの拡充・ブルーレイHDRの拡販

VOD

DVD発売と同時配信の充実(4作品)

・ 大作洋画/邦画で配信早期化を実現

- ◆「ソーシャルネットワーク」
- ◆「ハリリー・ポッターと死の秘宝 part1」
- ◆「ノルウェイの森」
- ◆「THE LAST MESSAGEーラストメッセージ 海猿」



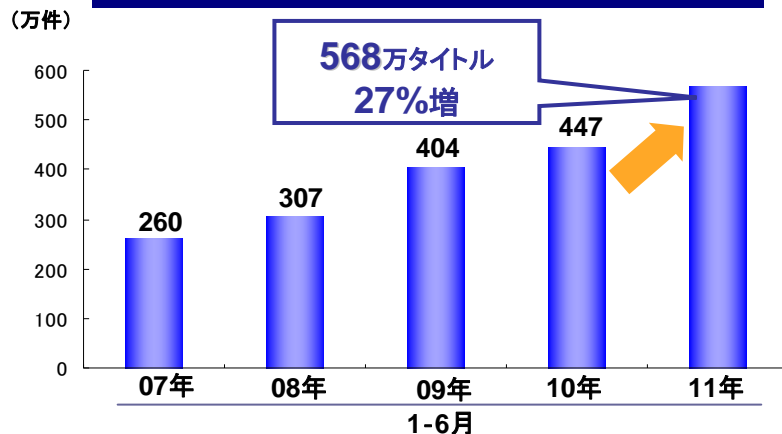
地上波との連携強化

・ 地上波ドラマの先行有料配信

- ◆TBS 「シマシマ」

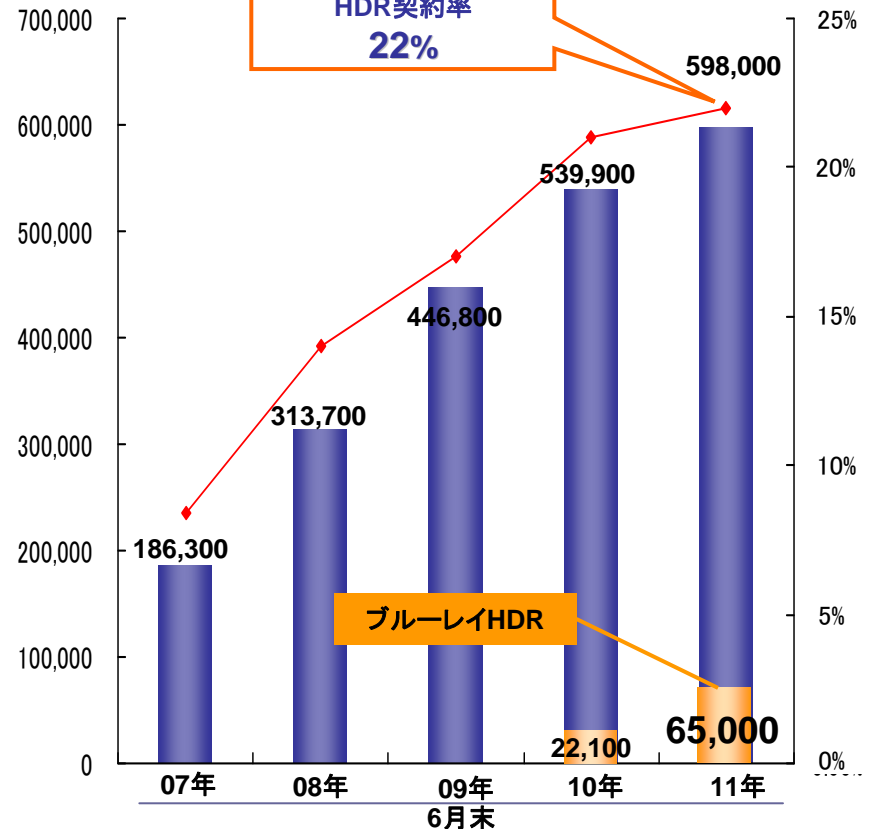


VOD購入タイトル数



HDR設置台数

(台)



1-2-4. 解約率の改善に向けた取り組み

各種施策の推進により解約率は前年同期比で改善

諸施策一覧

•継続率評価制度の導入 (2011.4~)

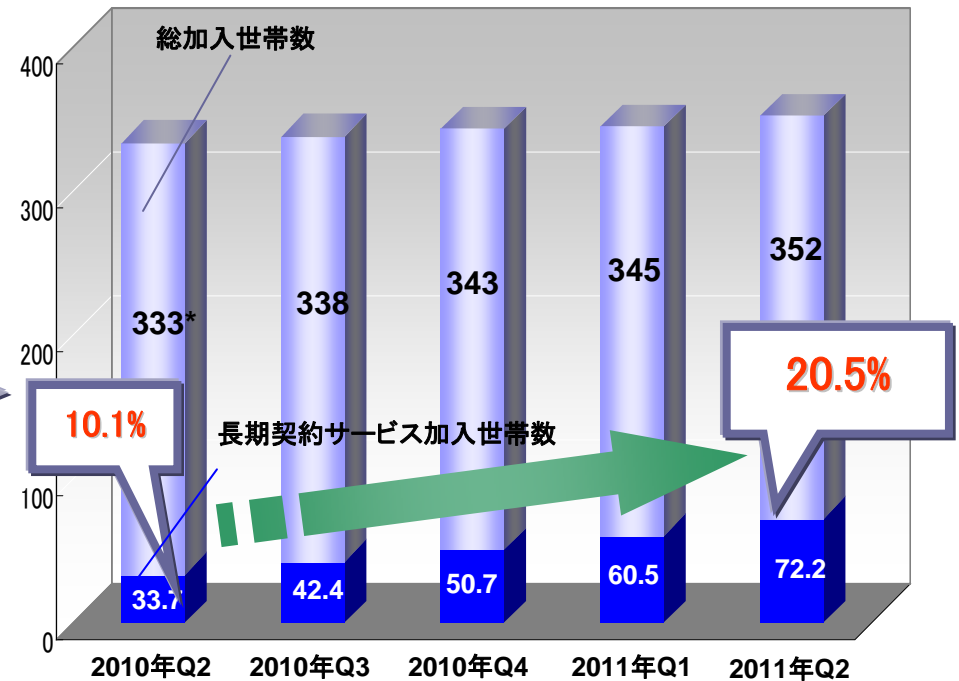
•お客様対応の品質強化

•長期契約化の推進

•解約リスク層別対策

長期契約化の推進状況

(単位:万)



*長期契約サービスを提供していない局の総加入世帯数を除く。

1-2-5. お客様満足度・企業認知度向上に向けた取り組み

東日本大震災の被災地を音楽で支援するイベント MTV VIDEO MUSIC AID JAPAN



開催日	2011年6月25日(土)
開催場所	幕張メッセ・幕張イベントホール

① イベントにご加入者招待(100組200名) 応募数**16,100件**

② **初**のコミュニティチャンネルでの同時放映
視聴可能世帯数
約**902万世帯**

③ J:COM×JCN共同ブース設営

韓流スターの日本初展覧会を
共同開催

J:COM×フラウ・インターナショナル チャン・グンソク展

2011年6月28日(火)～7月4日(水) そごう横浜店



① 写真展 来場者数 約**23,000人**

② 公開記者会見・・・ご加入者招待(100組200名) 応募数**9,300件**

③ 番組放映 ・J:COMオンデマンド(FOD)
・コミュニティチャンネル・・・視聴可能世帯数 約**902万世帯**

1

第2四半期のまとめ

2

第2四半期業績の解説

3

第3四半期以降の重点施策

4

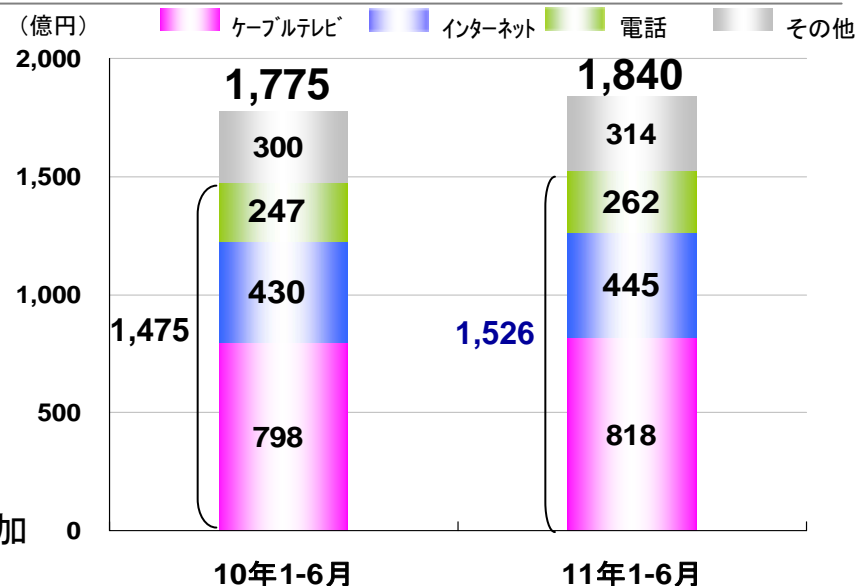
参考資料

2-1. 営業収益ならびに費用

[米国会計基準]

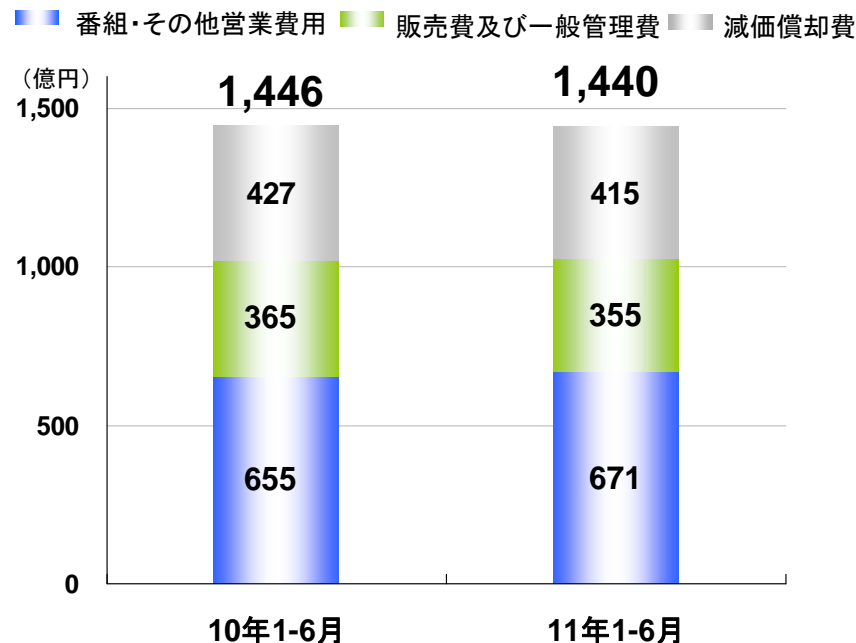
営業収益 1,840億円 (+3.6%、+65億円)

- 利用料収入: 1,526億円 (+3.4%、+50億円)
- その他収入: 314億円 (+4.8%、+14億円)
 - ・総加入世帯・RGU数の増加
 - ・デジタルサービス(VODやブルーレイHDRなど)の付加価値サービス利用増
 - ・難視共聴世帯の取込み等による電波障害対策収入の増加



営業費用 1,440億円 (-0.4%、-6億円)

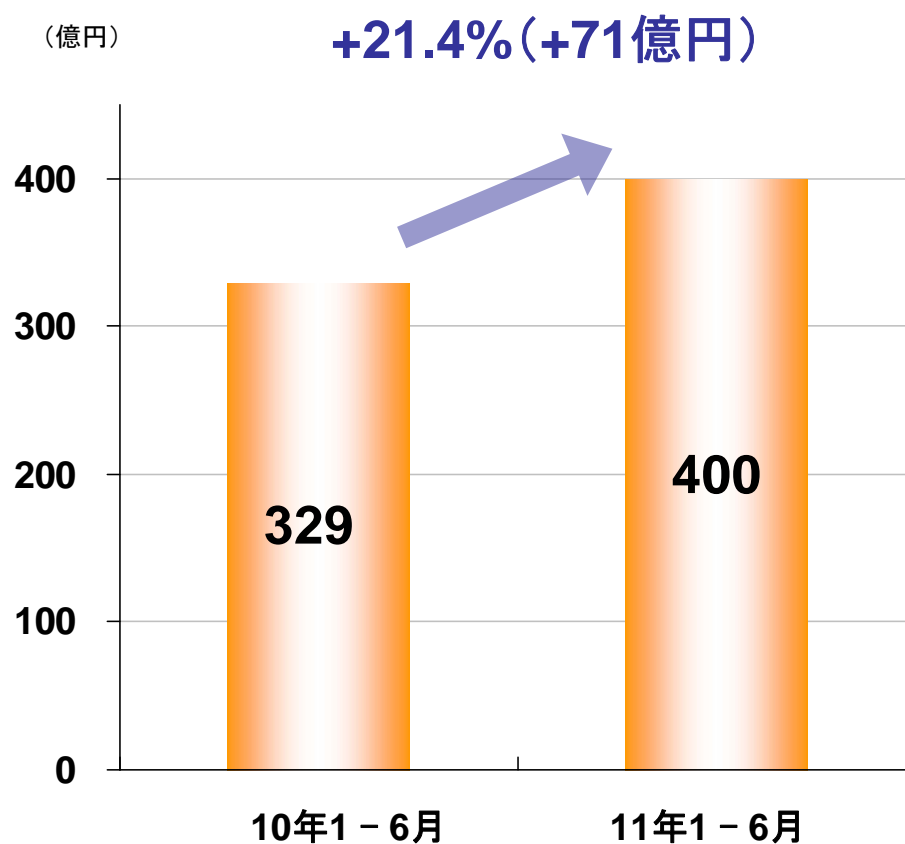
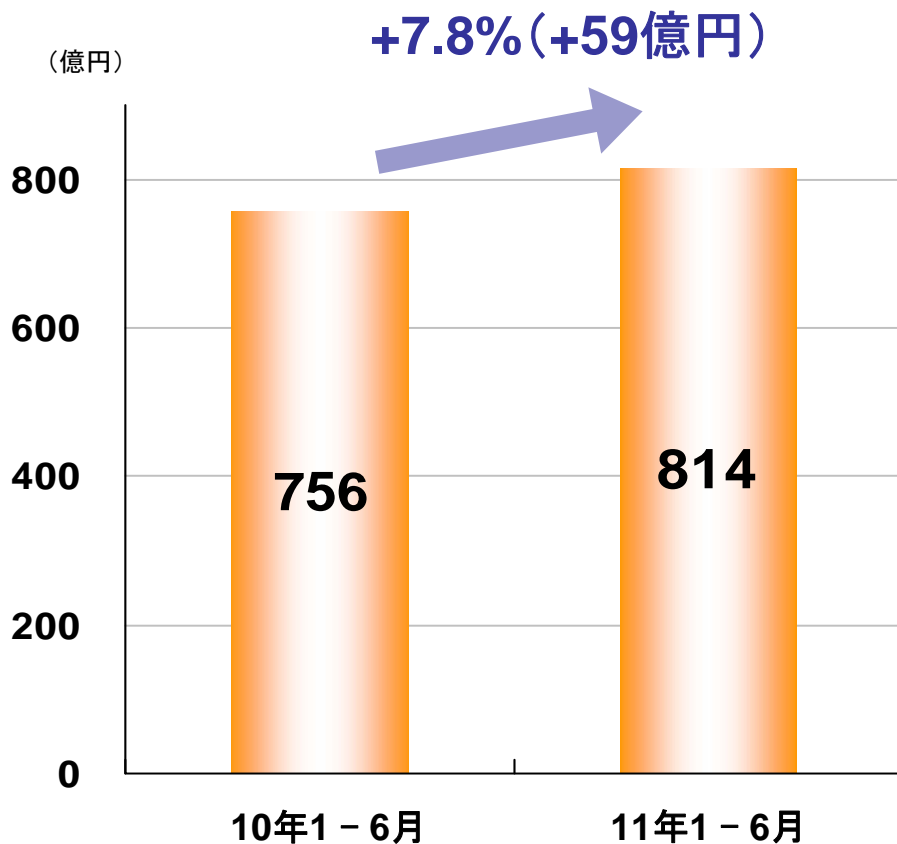
- 番組・その他営業費用: 671億円 (+2.5%、+16億円)
 - ・番組関連費用及び業務委託費の増加
- 販管費: 355億円 (-2.8%、-10億円)
 - ・広告宣伝関連費用等の減少
- 減価償却費: 415億円 (-2.8%、-12億円)
 - ・レガシー電話設備などの償却満了に伴い減少



2-1-1. EBITDA*及び営業利益

EBITDA*

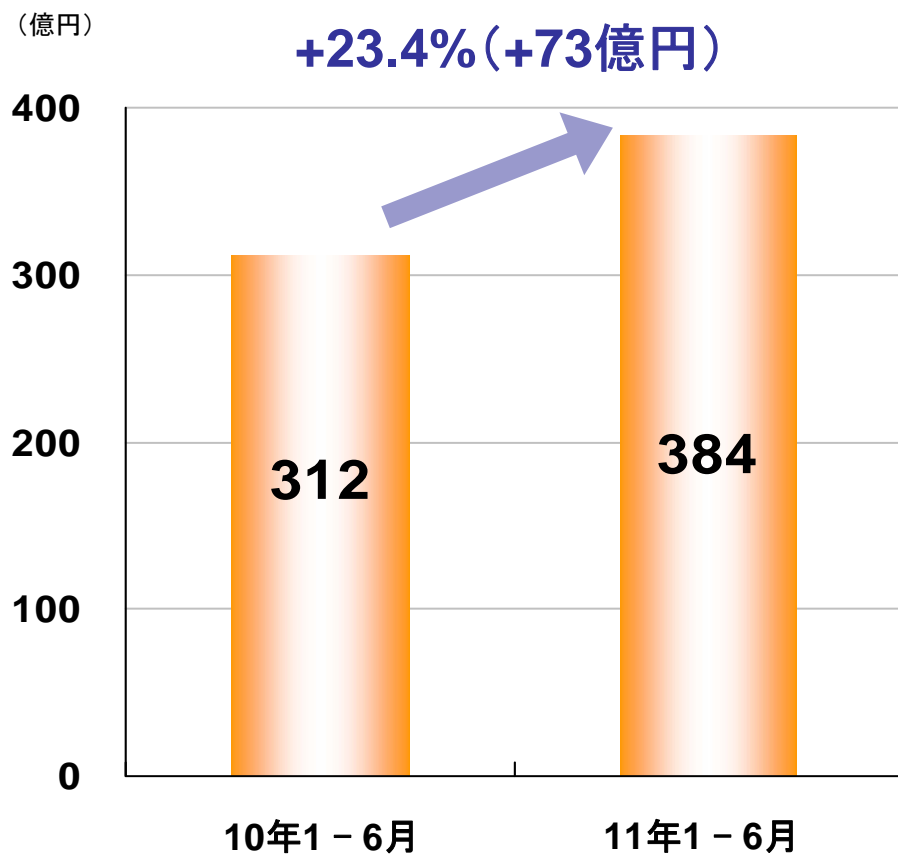
営業利益



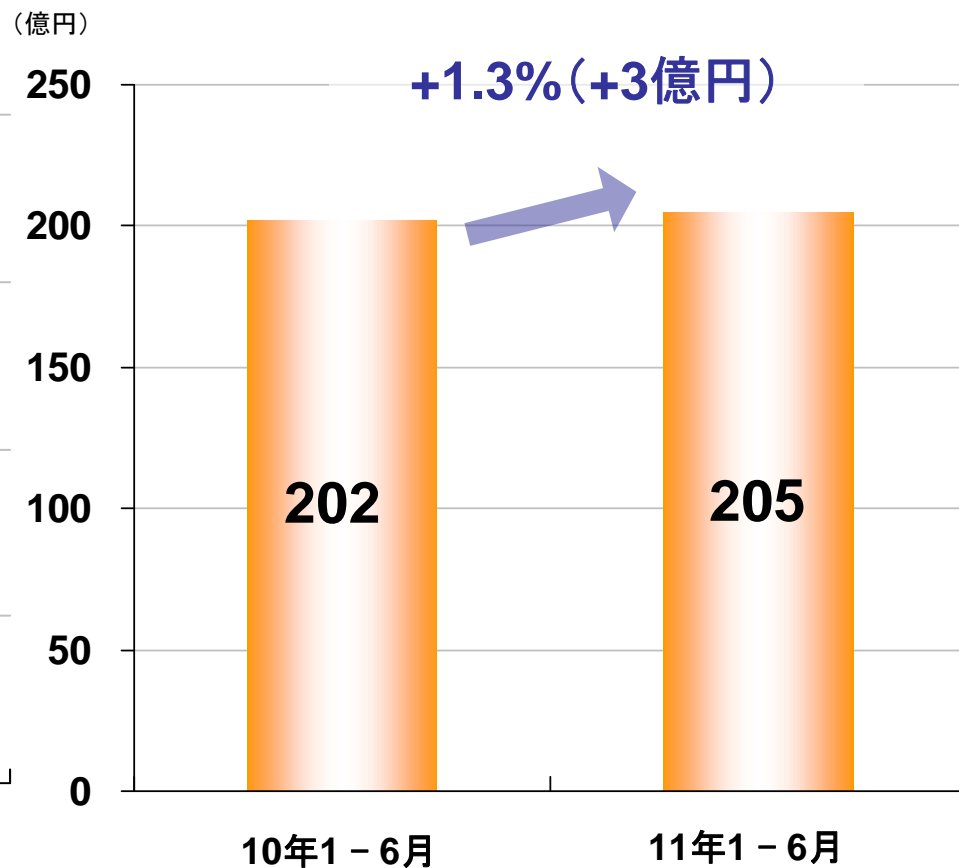
*EBITDA=(営業収益)-(番組・その他営業費用)-(販売費および一般管理費)

2-1-2. 税金等控除前利益、当社株主帰属四半期純利益

税金等控除前利益



当社株主帰属四半期純利益



前年同期比増減要因

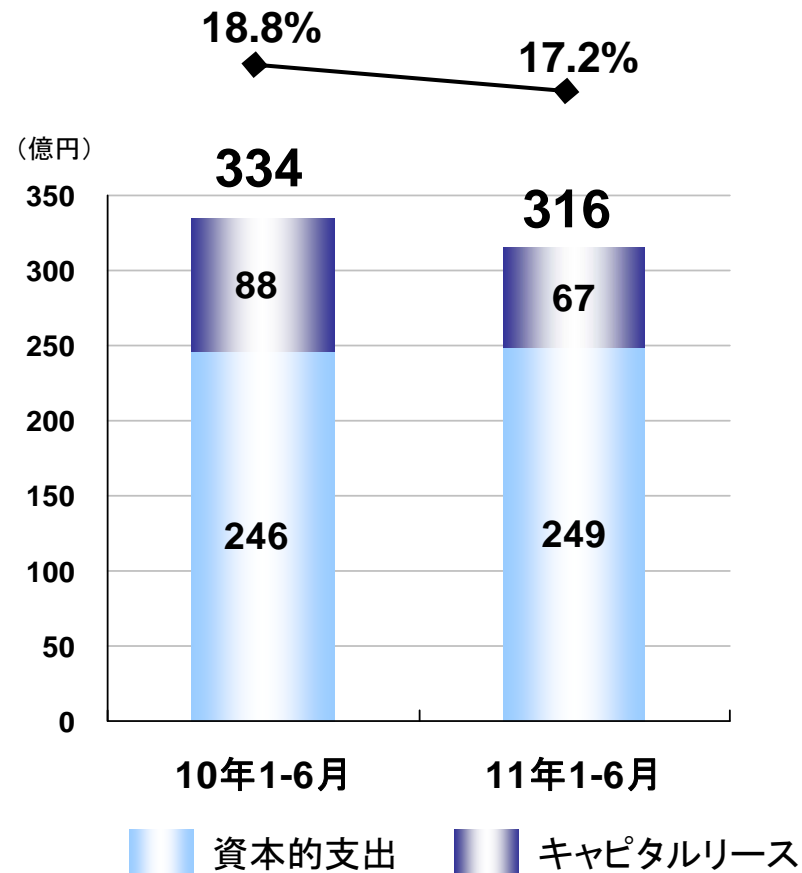
1. 資本的支出 +3億円

- 工事単価低減で加入設置工事は減少
- 一部エリアでの幹線分配線設備の増加や J:COM PHONE プラス 等の新サービス導入に伴うシステム関連投資等が増加

2. キャピタルリース -21億円

- デジタル化完了に伴うSTB調達台数の減少や平均単価下落によりSTB調達金額が減少

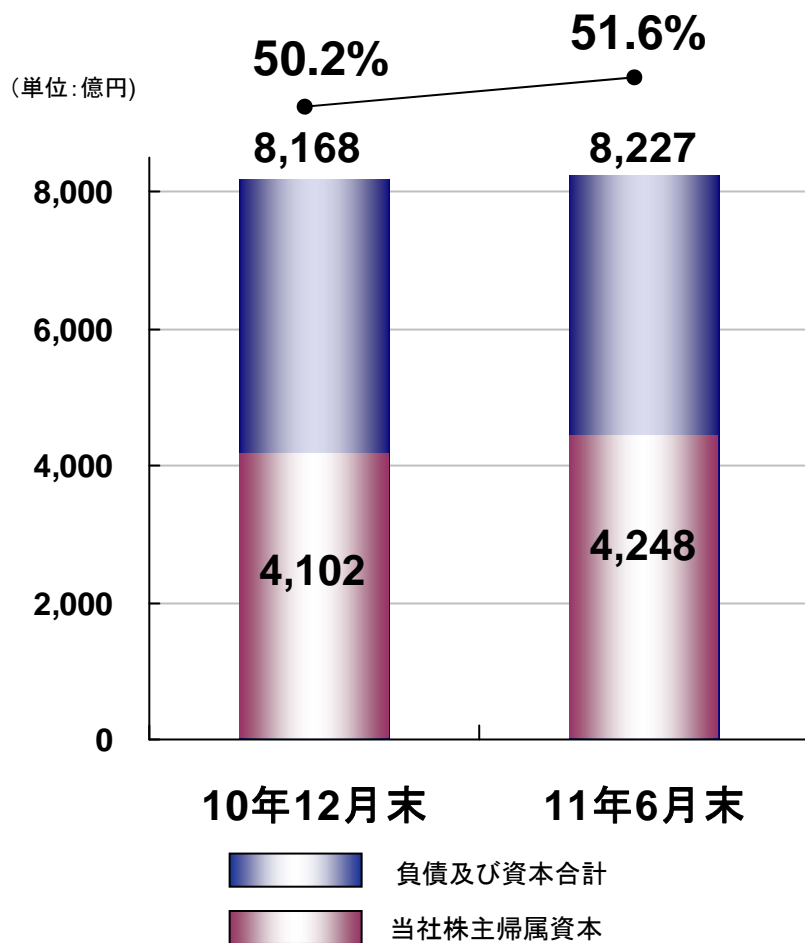
設備投資比率*



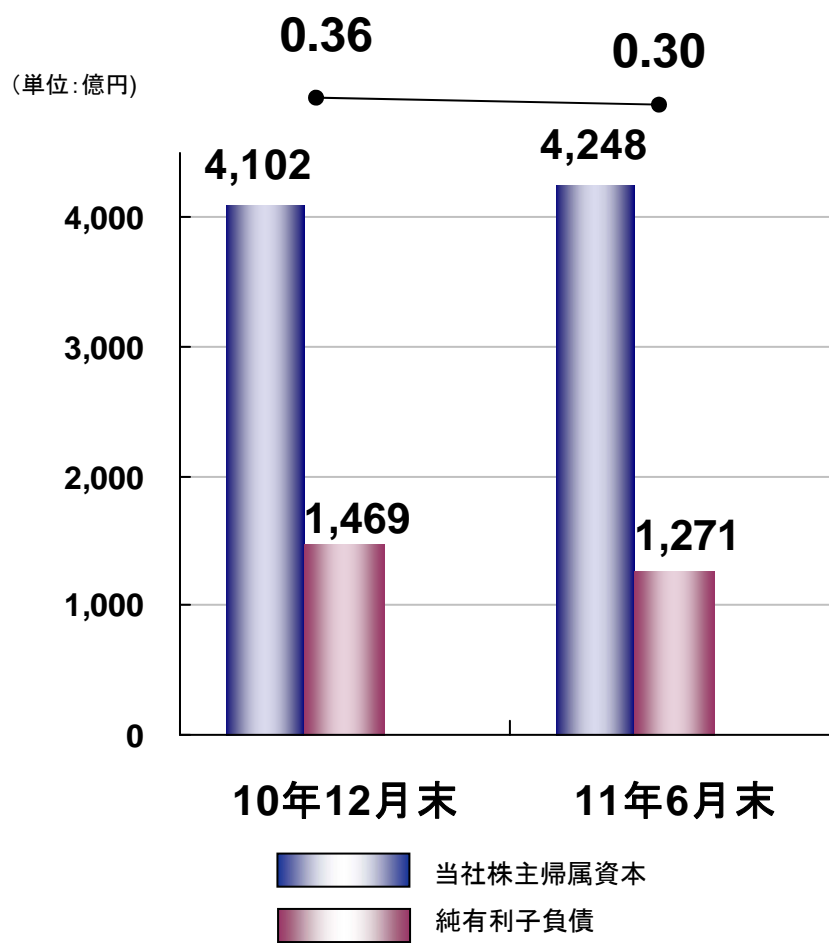
*設備投資比率: 営業収益に対する設備投資額の比率

2-3. 主要財務比率

当社株主帰属資本比率



D/Eレシオ



2-4. 連結キャッシュ・フロー

(単位: 億円)

	10年1-6月	11年1-6月	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	600	579	-21
投資活動による キャッシュ・フロー	-254	-247	7
財務活動による キャッシュ・フロー	-152	-184	-32
フリー・ キャッシュ・フロー*	267	263	-4

* フリー・キャッシュ・フロー = (営業活動によるキャッシュ・フロー) - (設備投資)

【主な増減要因】

四半期純利益 +4億円
子会社清算による税金調整 +41億円
法人税等の支払額 -73億円

資本的支出 -3億円
事業譲受による支出 +11億円

配当金の支払 -29億円
ストックオプション行使等で得た資金
-47億円
長期借入金元本返済 +45億円

1

第2四半期のまとめ

2

第2四半期業績の解説

3

第3四半期以降の重点施策

4

参考資料

3. 第3四半期以降の重点施策

「お客様基盤の拡大 + お客様との関係深化」を更に推進

ポスト7.24対策

- 多チャンネルサービス促進
- インターネットサービスの商品競争力強化
- 関西エリア対策

解約防止策の強化

- 「カスタマーリレーション統括本部」新設
・お客様サービスの管理・運営を一元化し各種施策を推進

KDDIアライアンス

- 電話サービス拡販
- クロスセルプロモーションの推進継続
- ネットワークの高度化・効率化

メディア事業の強化 (J SPORTS)

- 新放送システムの導入
- ブランド力の強化
- BSへの進出

3-1. ポスト7.24対策

商品力強化、競合対策により、加入拡大と解約防止を目指す

■ 多チャンネルサービス促進

- 新長期契約メニュー投入：
「多チャンネル＋電話」長期契約メニュー
- 商品力強化：HD化推進、TV Everywhereサービス

■ インターネットサービスの商品競争力強化

- 新バルク商品投入：
インターネット1メガ一括バルク

■ 関西エリア対策

- 「関西本部」の新設
- 「My style」の価格体系見直し

3-2. 解約防止の強化

お客様サービスの管理・運営を一元化し、
お客様の声を起点に全社的な改善・改革活動を推進

カスタマーリレーション統括本部（新設）

お客様サービス向上委員会（新設）

カスタマーリレーション本部

オペレーション本部

CS推進本部

技術サポート本部
お客様宅工事担当部隊

業務局
(各局)

カスタマーセンター

技術センター

● 加入後フォローの徹底

● アフターサポート人員の拡充

● 技術サポート体制強化

● カスタマーセンターにおける受電体制の改善

● 長期契約率の更なる向上

お客様満足度の最大化へ

3-3. KDDIアライアンス

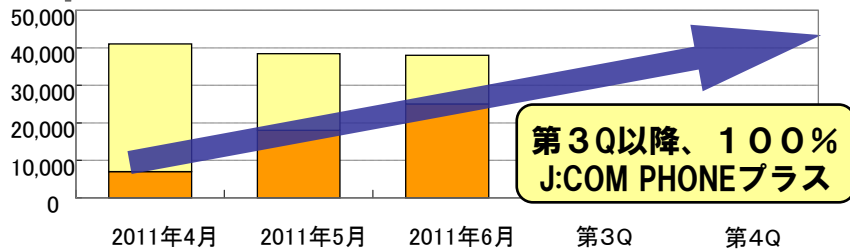
J:COM PHONE プラス への販売切替

順調に、販売切替

J:COM PHONE **プラス**

(世帯)

■ JPプラス □ 既存JP

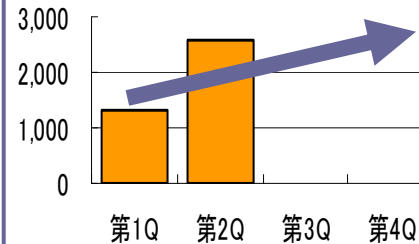


クロスセルプロモーションの推進継続

獲得推進の継続

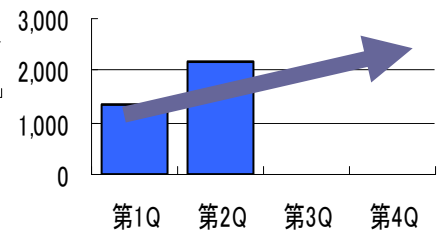
(RGU)

【J:COM勧奨】



(回線)

【au勧奨】

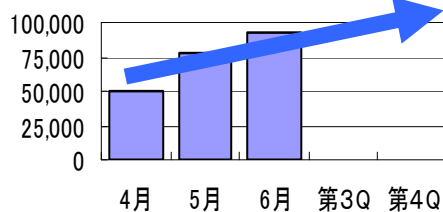


auとの優遇通話サービス・J:COMまとめ請求推進継続

お客様満足度向上/解約抑止効果を拡大へ

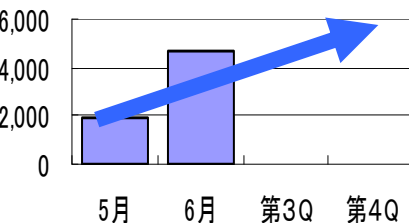
(世帯)

【auとの優遇通話サービス】



(世帯)

【J:COMまとめ請求】



ネットワークの高度化・効率化

- J:COMサービスのバックボーンネットワークの高度化に際しKDDIの構築する統合IPコア網の利用を決定。
- 現行システムの継続に比べ30%程度のコストダウンを見込む。
- 2012年2月以降の実施。

3-4. メディア事業の強化 (J SPORTS)

新放送システム導入 (2011年7月)

- 完全HD化への対応
- LIVE編成の強化
- BS放送開始に合わせた質の高い放送体制構築
- グループチャンネルの送出機能集約による効率化

放送・制作設備を一新

1. 放送マネージメントシステム
2. 回線センター/収録サーバー
3. スタジオ・サブ
4. 送出サーバー、アーカイブ
5. マスター



マスター



スタジオ・サブ

ブランド力の強化 (2011年10月)

ブランドリニューアル(会社名、チャンネルブランド一新)

【会社名】株式会社ジェイ・スポーツ



【チャンネルブランド】



2011年10月

2012年3月予定

BSへの進出 (2011年10月～)

BS最大4チャンネルのスポーツテレビ局誕生

- 全プラットフォーム(BS, CS、ケーブルテレビ)で全4チャンネルをハイビジョン化
- 生中継を大幅に強化

1

第2四半期のまとめ

2

第2四半期業績の解説

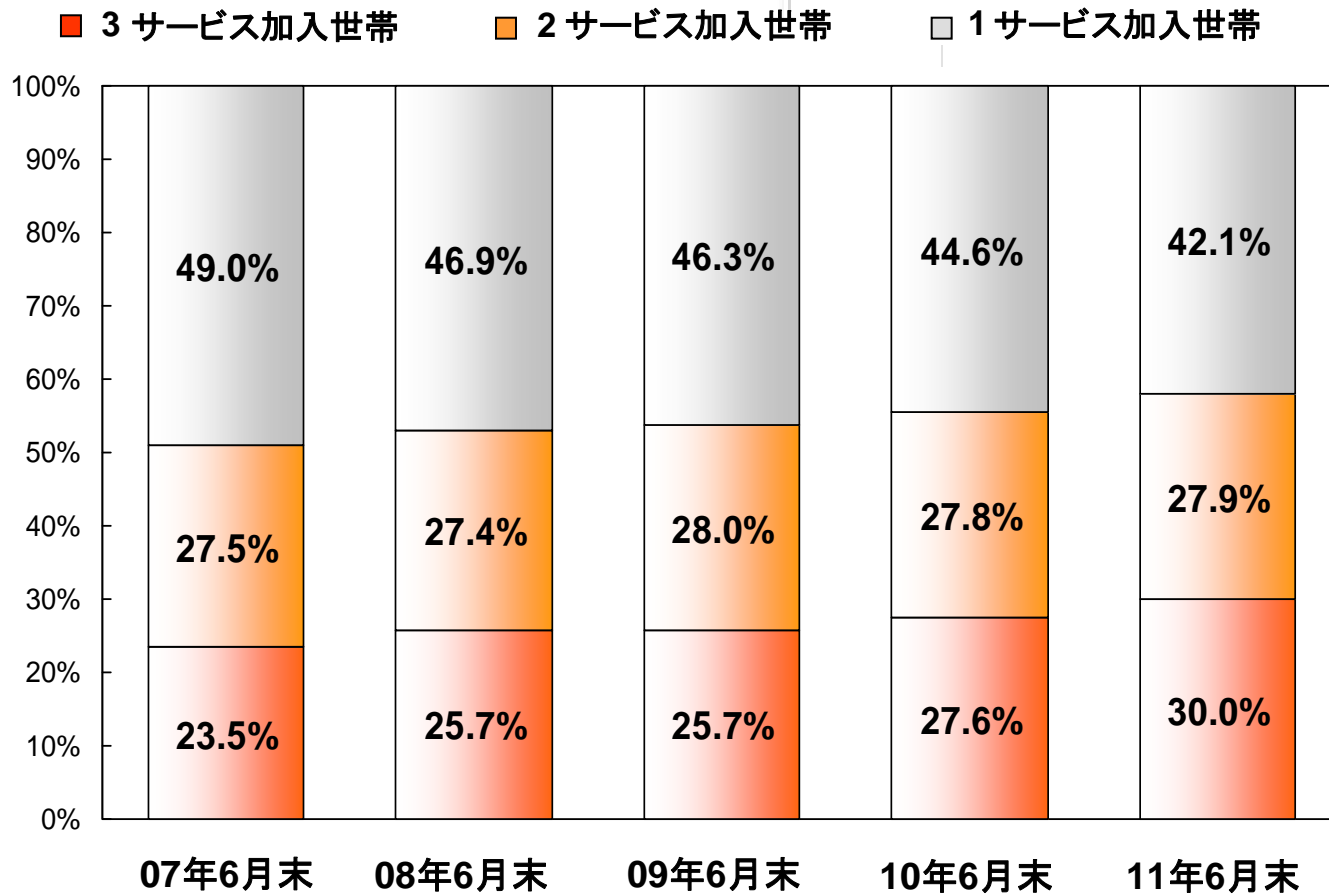
3

第3四半期以降の重点施策

4

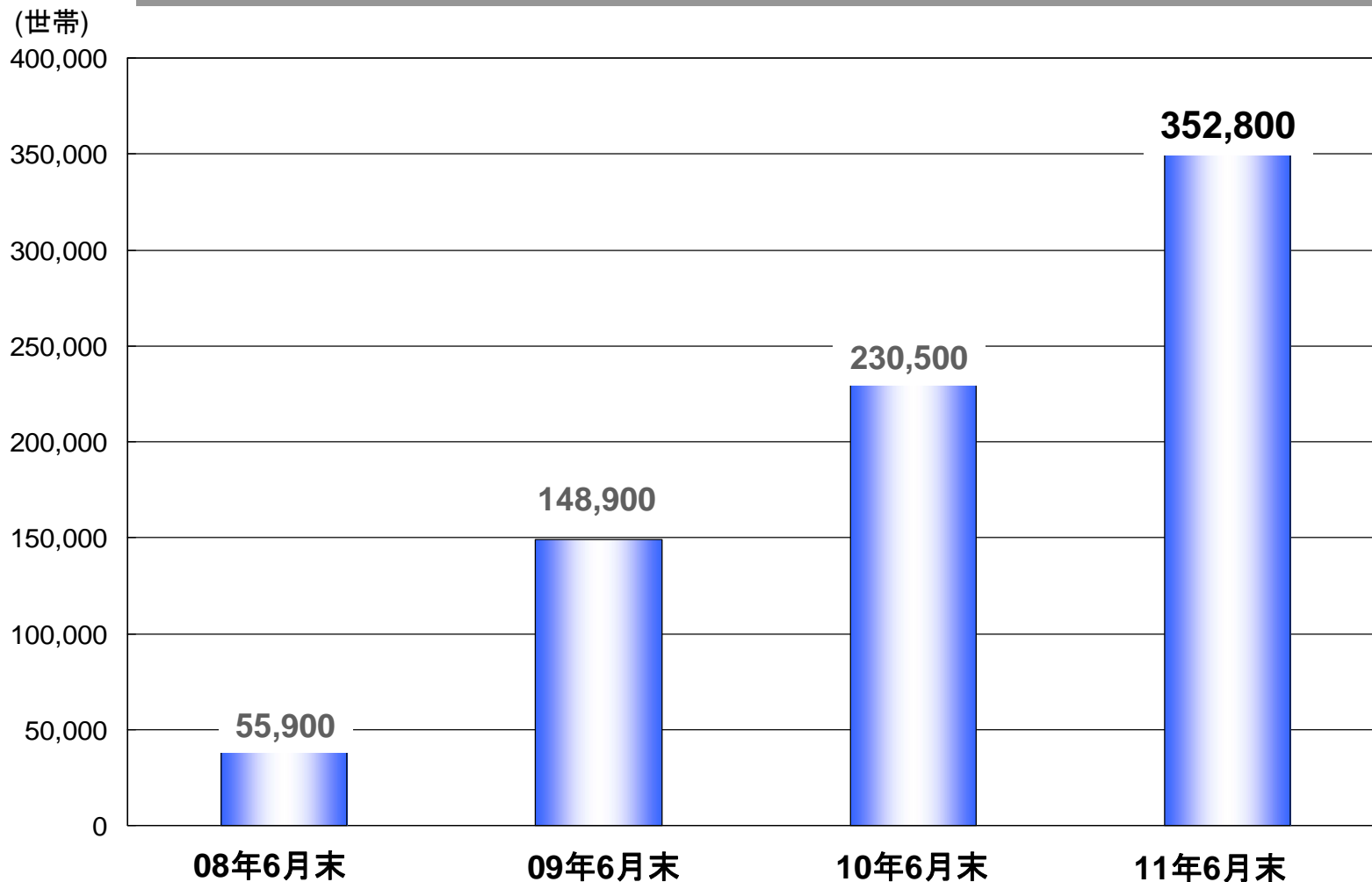
参考資料

加入サービス数別の世帯構成比



160メガ 超高速インターネット接続サービス

加入世帯数



チャンネル別 視聴可能世帯数

(2011年5月末現在)

チャンネル名/会社名	区分 出資比率	視聴可能 世帯数	チャンネル名/会社名	区分 出資比率	視聴可能 世帯数
ベーシックチャンネル					
ムービープラス ジューターエンタテインメント(株)	連結 100%	755万世帯 (756万世帯)	AXN (株)AXNジャパン	持分法 35%	735万世帯 (726万世帯)
LaLa TV ジューターエンタテインメント(株)		669万世帯 (665万世帯)	キッズステーション (株)キッズステーション	その他 15%	848万世帯 (845万世帯)
大人の趣味と生活向上◆アクトオンTV (株)ジュータービジュアルコミュニケーションズ	連結 90.00%	399万世帯 (402万世帯)	日本映画専門チャンネル 日本映画衛星放送(株)	その他 9.99%	738万世帯 (730万世帯)
ゴルフネットワーク ジューターゴルフネットワーク(株)	連結 89.41%	722万世帯 (721万世帯)	時代劇専門チャンネル 日本映画衛星放送(株)		793万世帯 (784万世帯)
J sports ESPN, J sports 1, J sports 2, J sports Plus * (株)ジュータースポーツ・ブロード・キャストینگ*	連結 80.5%	770万世帯 (762万世帯)	日経CNBC (株)日経シー・エヌ・ピー・シー	その他 9.75%	745万世帯 (765万世帯)
チャンネル銀河 チャンネル銀河(株)	連結 76%	391万世帯 (377万世帯)	オプションチャンネル		
ディスカバリーチャンネル ディスカバリー・ジャパン(株)	持分法 50%	645万世帯 (693万世帯)	アニメシアターX (AT-X) (株)イー・ティー・エックス	その他 12.28%	13万世帯 (13万世帯)
アニマルプラネット アニマル・プラネット・ジャパン(株)	持分法 33.3%	600万世帯 (594万世帯)			

出所: 各社

()内は2011年2月末現在の視聴可能世帯数

* J sports PlusはJ:COMではオプションチャンネル。